

MIDDLE EAST JOURNAL 記事索引 1947-1968.

長 場 紘

ここに収めたものは Middle East Institute (1761 N Street, N. W., Washington, D. C. 20036, U. S. A.) から刊行されている季刊誌 *Middle East Journal* の記事索引である。はじめに Middle East Institute—以下 M. E. I. と略称する—の概要を簡単に紹介する。

1. Middle East Institute について

M. E. I. は著名な建築家である George Camp Keiser によって1946年に設立された民間の独立研究機関である。この機関にはアメリカの政界、財界、学界などに席をおく人々が多種多様な仕事を通じて、あるいは個人的に中近東各国の諸問題に深い関心をもっている多くの人々が集まっている。その設立の目的は第1に、アメリカ国民に中近東にたいする一般的認識を持たせること、第2に研究活動、出版活動、報道、講演会およびその他の情報手段を通じてアメリカと中近東各国との友好関係と相互理解の促進をはかることである。その活動は政治、経済、文化、歴史の諸分野にまたがり、とくに中近東各国のカレントな開発問題に焦点を合わせるものである。M. E. I. は会員制をとっており、会員は現在約900人である。会員には中近東に関心をもっている人であれば国籍を問わず誰でも入会できる。M. E. I. の運営には理事会 (Board of Governors) があたる。それは政界2人、学界11人、財界8人、その他10人の計31人で構成され、少なくとも年に3回理事会を開催して M. E. I. 活動の全般的方針を決定する。現在の理事長 (President) は Raymond A. Hare である。運営資金は会員の会費、出版物の収益、Keiser 財団、その他の財団、個人の寄付金などによってまかなわれる。

M. E. I. の諸活動の中で最も重要なものは、*Middle East Journal* の刊行であり、1947年に創刊された。創刊号の“発刊の辞”で次のような問題意識を提出している。第2次世界大戦が終結し、中近東諸国の将来はもはや欧米列強の中近東諸国にたいする不合理な政策や姿勢によって左右されることはなくなった。これら各国は民族的自覚、経済自立、文化的状況、人口の抑圧、地域協

力の必要性などさまざまな問題を内部にかかえながら、社会的・政治的・経済的安定を追求している。これに助けるためには健全なアメリカの外交政策が必要であってそれに必要な諸条件、諸要因を分析し評価することが本誌の主要な目的である。

Middle East という用語は地理的にはあいまいな概念であるが最も狭い範囲ではトルコ、イラク、イラン、レバノン、シリア、パレスチナ、ヨルダン、アラビア半島、エジプトを含んだ地域である。しかし本誌の対象とする地域はこれよりはるかに広くマグリブ3国、リビア、スダーン、エチオピア、リマリア、チャド、モーリタニア、キプロス、アフガニスタン、パキスタン、インド、中央アジアまで包含している。しかしながら1947年8月15日のインド・パキスタン分離以降、ヒンズー教徒が圧倒的多数を占めるインドは本誌の対象地域から除外された。また旧イギリス委任統治領パレスチナにはイスラエル共和国が種々の曲折を経たのち1948年5月15日に建国された。このように本誌が創刊されて以後地域的呼称あるいは対象地域に多少の変動はあるが、本来的にはイスラム教国家を対象とするものである。従ってインドネシアやソ連連邦共和国のいくつかも対象としてとりあげられることがある。

2. Middle East Journal について

編集長 William Sands 以下22人が現在の編集委員会を構成している。各号は論文、クロノロジー、ドキュメント資料、Review article、書評、新刊・近刊文献目録、雑誌記事索引から成っている。このスタイルは創刊号から一貫してほとんど変わっていない。論文は各号に3-5篇程度収載される。創刊号から第22巻第4号まで約400の論文が収載されているが、これらは特定の主題や地域に偏することなく網羅的である。ただ主題からみた場合政治、国際問題に関連する論文が圧倒的に多く全体の約3分の1を占める。そのほか経済一般に関するもの、社会、条約・法令、文化・宗教が比較的多い。

クロノロジーは3ヵ月ごとにまとめて国名のアルファ

ベット順に作成される。記入内容はほとんど政治、経済に限定される。ただしアラブ・イスラエル紛争など特定の事項については独立の項目として扱われる。

Review articleには地理、経済、人類学、伝記、研究事情、書評記事などがある。これらを型態別にみれば書評、研究事情概観、資料事情、紹介、文献目録などに区別できる。

ドキュメント資料はきわめてユニークな記事である。資料別には次のように分類できる。(1)各国の憲法、(2)各種の条約、協定書、法令、(3)土地改革、所有などに関する法令、条文、(4)国連や国際機関から出される報告書、(5)その他。

書評は毎号15冊内外の単行書を取りあげて国別、地域別、主題別(パレスチナ問題、芸術、社会学、人類学、歴史など)に分けて収められている。書評者は大部分中近東研究者が担当する。

雑誌記事索引は地理、歴史(中世)、歴史・政治(現代)、社会、文学・芸術、法律、伝記、書誌、言語、書評などに分けて収められている。最近号ではアラブ・イスラエル紛争が独立項目になっている。採録対象誌は約111種の多きに達し、記事索引としてはきわめて有用である。

各巻の最終号には当該巻の著者、論文名からアプローチできる索引が収められている。

3. Middle East Institute のその他の活動について

(1) The George Camp Keiser Library

故 Mr. Keiser の蔵書をもとに設立されたこの図書館は約1万冊の蔵書を有する。そのほか1500冊のアラビア語資料をはじめ、トルコ語、ペルシャ語、ヘブライ語、ウルドゥ語の各民族語資料がある。近年「図書館友の会」が組織され、友の会会員から *Jewish observer and Middle East review* のような貴重な資料やすでに絶版になった多くの重要な歴史的著作の寄贈を受けた。1965年と1966年には約1000冊にのぼる資料を Mr. Keith Wheelock と Ambassador Richard Nolte が図書館に寄贈した。

(2) 出版活動

1952年以来刊行された単行書は15点にのぼる。1966年には次の3冊を刊行した。

1. L. C. Brown ed., *State and society in independent North Africa*.
2. Sati' alHusri, *Yawn Maysalan*.

アラビア語からの英訳書で、アラブナショナリズム

に関する画期的な文献。

3. Pablo de Azcarate, *Mission in Palestine-1948-*

(3) 研究プログラムと会議

今まで数回にわたって研究、教育プログラムの作成・実施を行なったり会議がもたれてきた。National Science Foundation の援助を受けてアラブ諸国の科学者や技術者の訓練についての研究プログラムが施行され、この成果が *Education and science in the Arab world* のタイトルで1966年に John Hopkins Press から刊行された。1965年、66年、67年には国務省の要請にもとづいて *The role of youth in the Middle East*, *The economic prospects of the U. A. R.*, *The role of the middle class in the U. A. R.*, *Turkey and Iran* の諸問題について小規模な研究会議が開かれた。

年次総会は毎年1回開かれ、中近東に関する各種のテーマが取り上げられる。

(4) 人名録の作成

中東研究者と中東諸国の著名な約600人の人名録を編さんした。この人名録には各人ごとに国籍、研究分野、研究対象地域など必要事項が記入されている。

最後に本誌以外の中東研究のための学術雑誌について簡単に素描する。本誌は前述したように社会、人文科学の両域にわたってカレントな諸問題を扱うものである。観点は異なるが同種のものとして *Middle Eastern studies* (London, Frank Cass & Co. 季刊。1964年創刊), *Orient* (Paris, S. A. R. L. Orient. 季刊。1957年創刊), *Middle East forum* (Beirut, American University of Beirut. 季刊。1926年創刊), *Cahiers de l'Orient contemporain* (Paris, Institut d'Etudes Islamiques de l'Université de Paris. 年5回刊。1951年創刊)があり、既に廃刊になっているが *Middle Eastern affairs* (New York, Council for Middle Eastern Affairs. 月刊。1950-1963年)もある。イスラムという観点から編集している雑誌には *Islamic quarterly* (London, Islamic Cultural Center. 季刊。1954年創刊), *The Muslim world* (Hartford, Hartford Seminary Foundation. 季刊。1911年創刊), *Revue des études Islamiques* (Paris, Librairie Orientaliste Paul Geuthner. 半年刊。1927年創刊), *Studia Islamica* (Paris, G. P. Maisonneuve & M. Larose. 半年刊。1954年創刊)がある。そのほか *Journal of the economic and social history of the Orient* (Leiden, E. J. Brill. 年3回刊。1958年創刊)は19世紀初頭までの中近東の経済、社会問題に焦点を合わせるものである。

またカイロの Société d'Economie Politique, de Statistique et de Legislation d'Egypte からは *L'Egypte Contemporain* (季刊。1910年創刊) が出ている。社会、法律、経済の諸問題を多くとりあげる。各論文は英語、仏語、アラビア語のいずれかで書かれている。以上のほかに政治、経済関係の時局解説とカレントなニュースを提供するものには *Middle East economic survey* (Bei-

rut, Middle East Research and Publications Center. 週刊。1958年創刊), *Mid-East commerce* (Beirut, Mid-East Commerce. 月刊。1957年創刊), *Middle East and African economist* (New York, Middle East Economist. 月刊。1946年創刊) がある。なお日本では「中東通報」(中東調査会。月刊。1958年創刊) が唯一のものである。

— 凡 例 —

1. この索引には論文、ドキュメント資料、Review article を収め、その他の記事は割愛した。
2. 収録対象期間は第1巻第1号(1947)から第22巻第4号(1968)までの22年間、合計88冊である。
3. 記事の配列は、下表の主題分類表により主題分類を行なった。同一分類の中は著者名(論文名)のアルファベット順による。
4. 記事の記載形式は、著者名、論文名、巻号、刊行年、ページの順とした。
5. 本稿末に事項、人名、国名・地域名の索引を収める。

主 題 分 類 表

総 記	研究事情、資料事情・紹介、文献目録、報告書、ドキュメント資料、書評記事を収める。特定主題のものは各部門へ。	土地問題	土地改革、土地所有、農業開発も収める。
経 済		産 業	石油産業以外のものを収める。
経済一般		政 治	
開発・計画	経済、工業開発の理論ならびに実態を収める。	政治一般	
金融・財政	通貨、銀行問題も収める。	国際関係	
国際経済	貿易、協力、援助などを収める。	政党・選挙	
人口・労働		少数民族問題	
石油産業		社 会	
農業一般		憲 法	
農村問題		条約・協定・規約など 特定主題のものは各部門へ。	
		文化・宗教	
		イスラム法	
		言語・文学	
		教 育	

総 記

- 1 Cohn, Edwin J.: The climate for research in the social sciences in Turkey. 22(2) Spring 1968: 203-212.
- 2 Documents and situation reports. (a selected listing): 4(2) April 1950: 219-220.
- 3 Documents and situation reports. (a selected listing): 4(4) October 1950: 482-483.
- 4 Documents and situation reports. (a selected listing): 5(1) Winter 1951: 92-93.
- 5 Documents and situation reports. (a selected listing): 5(2) Spring 1951: 215-216.
- 6 Documents and situation reports. (a selected listing): 5(3) Summer 1951: 360-361.
- 7 Halpern, Manfred: Recent books on Moslem-French relations in Algeria. 3(2) April 1949: 211-215.
- ⑧ Hourani, George F.: Middle Eastern studies in Italy today. 18(8) Summer 1964: 313-319.

- 9 Howard, Harry N.: The Middle East in paperback. 18(3) Summer 1964: 355-366.
- 10 Hurewitz, J. C.: Recent books on the problem of Palestine. 3(1) January 1949: 86-91.
- 11 El Husri, Sati': On a work of J. Pirenne. 13(2) Spring 1959: 201-204.
- 12 Issawi, Charles: Through a glass, darkly: a recent Soviet study on the Middle East. 14(4) Autumn 1960: 470-475.
- 13 Julius Holmes, 1899-1968. 22(3) Summer 1968: 349.
- 14 Key, Kerim K.: The publications and activities of the Institute for the Study of Turkish Culture. 21(1) Winter 1967: 108-109.
- 15 Landau, Jacob M.: Israeli studies on the Middle East. 19(3) Summer 1965: 354-362.
- 16 Lehrman, Hal: Recent books on Israel. 5(2) Spring 1951: 243.
- 17 Lenczowski, George: Literature on the clandestine activities of the great powers in the Middle East. 8(2) Spring 1954: 205-211.
- 18 Liebesny, Herbert J.: Literature on the law of the Middle East. 3(4) October 1949: 461-469.
- 19 Mardin, Sherif: Recent trends in Turkish historical writing. 4(3) July 1950: 356-358.
- 20 McClanahan, Grant V.: Recent books on contemporary Egypt. 5(1) Winter 1951: 101-107.
- 21 Rentz, George: Recent literature on Hadramaut. 5(3) Summer 1951: 371-377.
- 22 Rentz, George: Literature on the Kingdom of Saudi Arabia. 4(2) April 1950: 244-249.
- 23 Romeril, Paul E. A.: Tunisian nationalism: a bibliographical outline. 14(2) Spring 1960: 206-215.
- 24 Samuel, Viscount: Middle East studies at the Hebrew University of Jerusalem. 20(3) Summer 1966: 394-397.
- 25 Thorner, Daniel: Recent books on India and Pakistan. 6(1) Winter 1952: 89-93.
- 26 Tignor, Robert L.: Some materials for a history of the 'Arabi Revolution; a bibliographical survey. 16(2) Spring 1962: 239-248.
- 27 Williams, John Alden: Seven Pakistani publications. 16(4) Autumn 1962: 528-536.
- 28 Young, T. Cuyler: Recent books on Iran. 4(1) January 1950: 106-110.
- 29 Ziadeh, Nicola A.: Recent books on the interpretation of Islam. 5(4) Autumn 1951: 505-510.

經 濟 一 般

- 30 Baster, James: Economic problems in the Gaza Strip. 9(3) Summer 1955: 323-327.
- 31 Boardman, Francis: Recent American University of Beirut publications on economic research. 15(3) Summer 1961: 329-333.
- 32 Bochenski, Feliks: Post-war economic writings on the Middle East. 7(1) Winter 1953: 100-106.
- 33 Bonné, Alfred: Entrepreneurial problems in Israel. 12(1) Winter 1958: 89-95.
- 34 Cohen, Jerome B.: The Colombo Plan for cooperative economic development. 5(1) Winter 1951: 94-100.
- 35 Franck, Dorothea Seelye and Peter G. Franck: The Middle East economy in 1948. 3(2) April 1949: 201-210.
- 36 Franck, Dorothea Seelye and Peter G. Franck: The Middle East economy in 1949. 4(2) April 1950: 221-243.
- 37 Franck, Peter G.: Turkey: problems and progress. 3(3) July 1949: 333-336.
- 38 Franck, Peter G.: Economic nationalism in the Middle East. 6(4) Autumn 1952: 429-454.
- 39 Franck, Peter G.: Economic progress in an encircled land. 10(1) Winter 1956: 43-59.